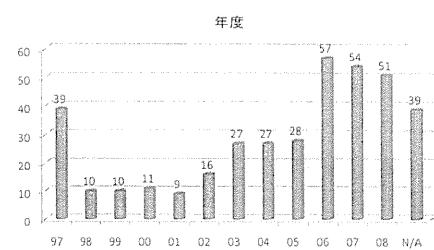


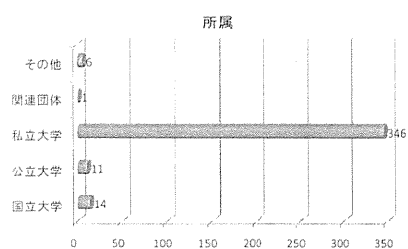
JUAM自己点検・評価に資する 調査(全体データ)

JUAM組織委員会
高野 仁
2008年12月

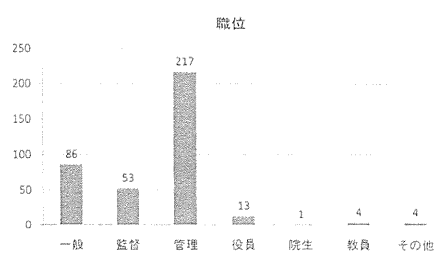
入会年度

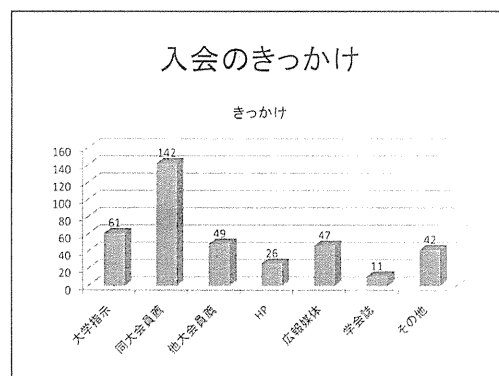
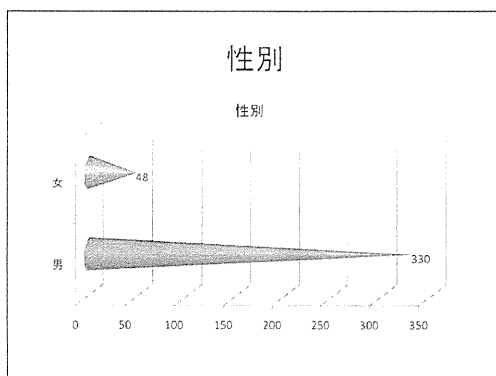
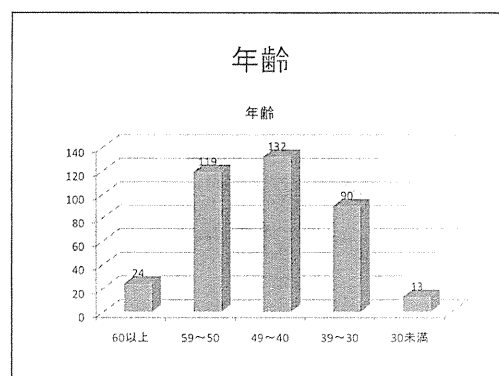
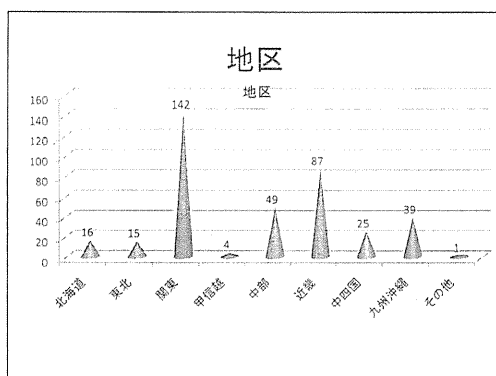


所属区分

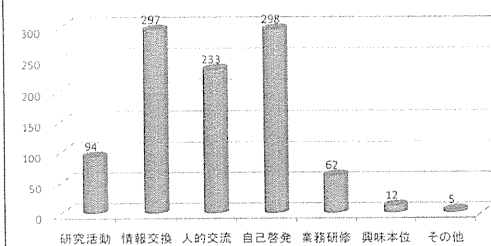


職位

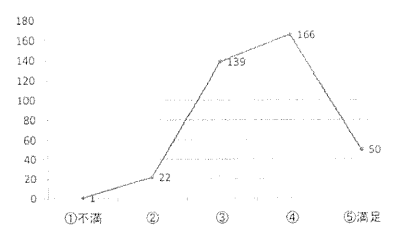




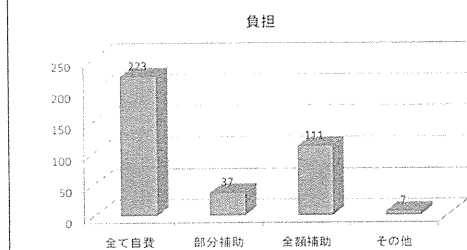
入会の目的



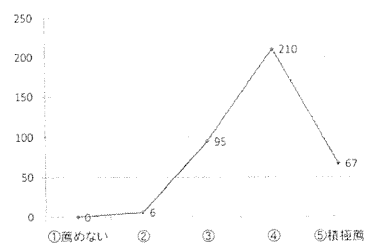
学会活動満足度(3.64)



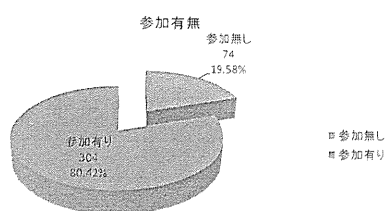
学会費の負担



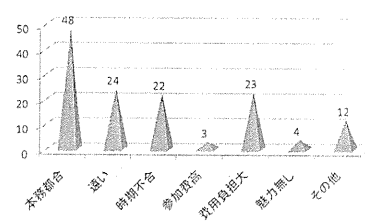
学会を薦めたいか(3.89)



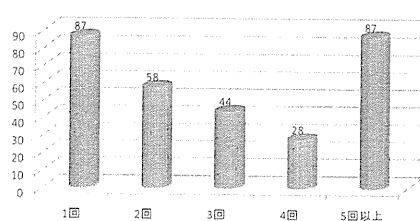
総会・研究集会への参加



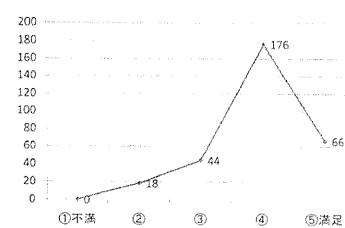
総会・研究集会不参加理由



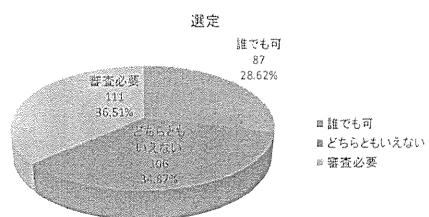
総会・研究集会参加回数



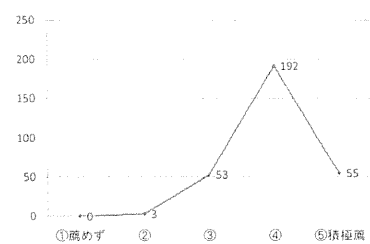
総会・研究集会満足度(3.95)



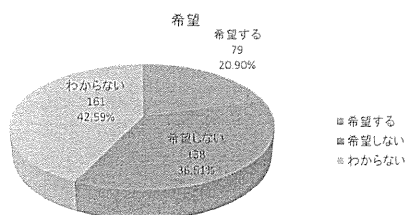
研究発表者の選定



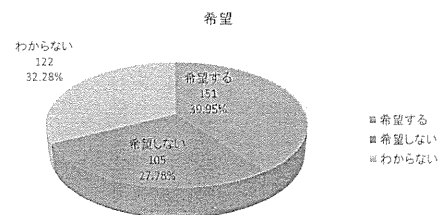
総会・研究集会のすすめ(3. 99)



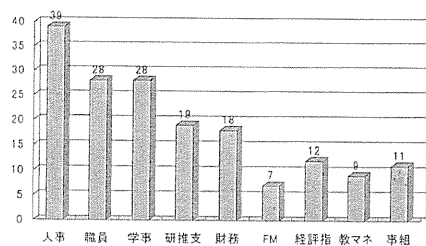
研究発表の希望



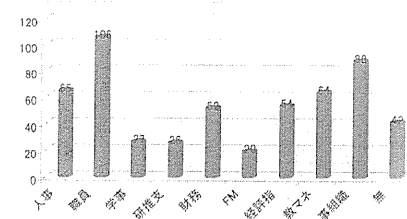
国際シンポジウムの希望



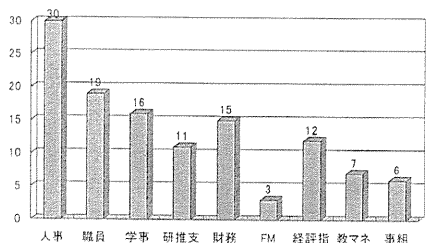
テーマ別研究会の所属(なし259)



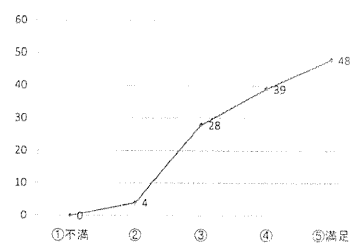
未加入者テーマ別希望(259件)



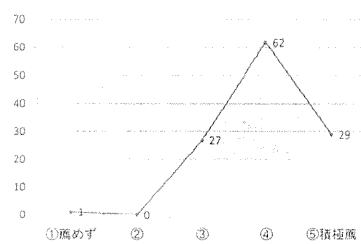
積極活動テーマ別研究会



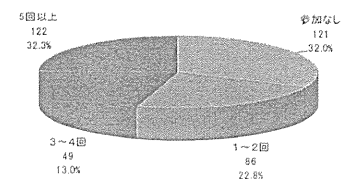
積極活動研究会満足度(4. 10)



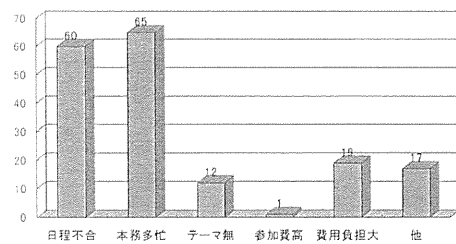
積極活動研究会推薦度(3. 99)



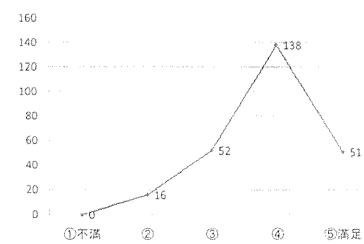
地区別・月例研究会参加



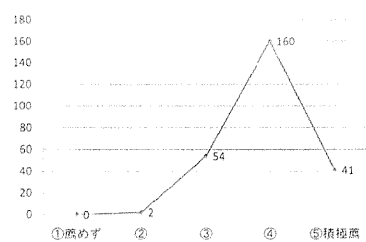
不参加理由



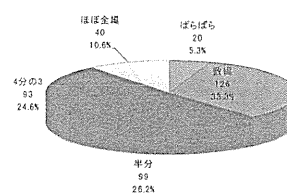
地区別 & 月例研究会満足度 (3. 87)



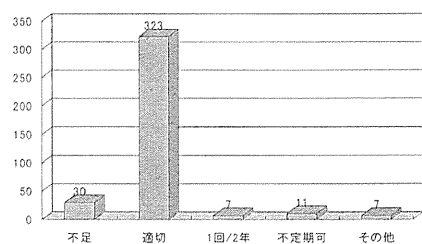
地区別 & 月例研究会推薦度
(3. 93)



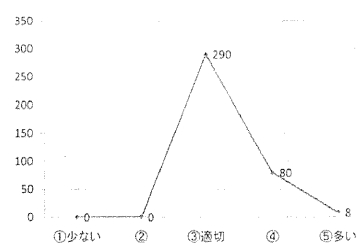
学会誌の読み具合



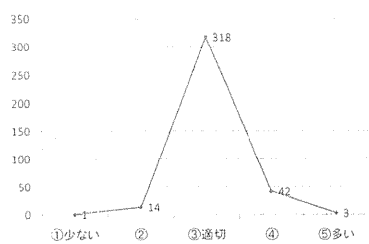
学会誌発行回数



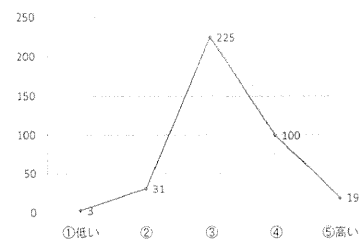
学会誌総頁数(3. 25)



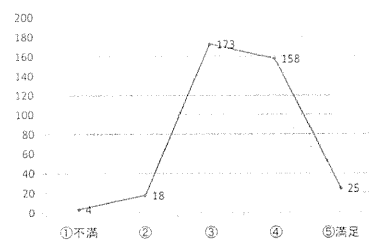
学会誌一編の文字数(3. 08)



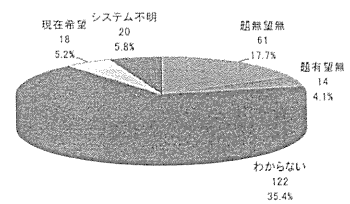
学会誌評価(3. 26)



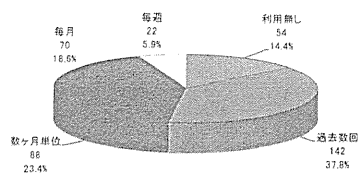
学会誌満足度(3. 48)



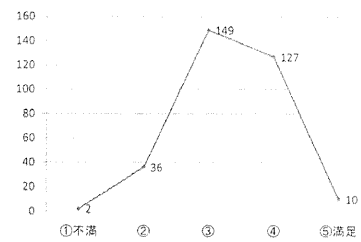
投稿希望(投稿経験の無い会員)



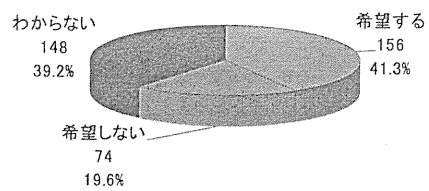
学会HP利用度



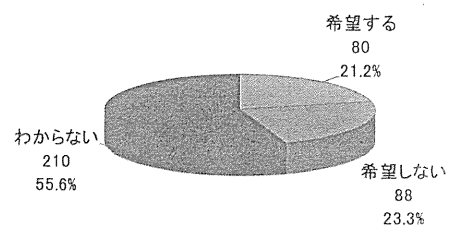
学会HP満足度(3.33)



データベース利用希望



学会叢書利用希望



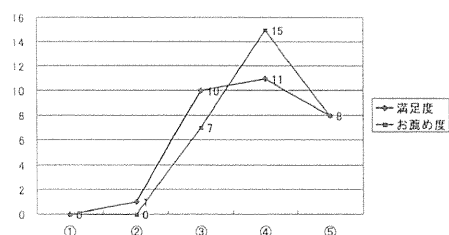
JUAM自己点検・評価評価 アンケート(テーマ別研究会)

JUAM組織委員会
高野 仁
2008年12月

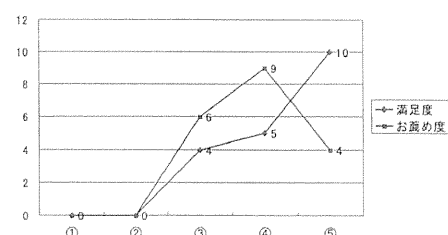
☆積極的に活動しているテーマ別研究会
ごとのその研究会に対する満足度と推薦
度合の指数を出し、評価をグラフ化してみ
た。

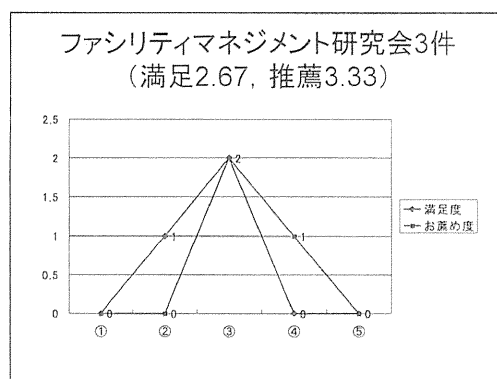
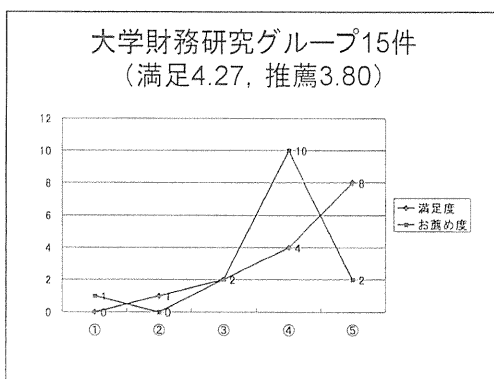
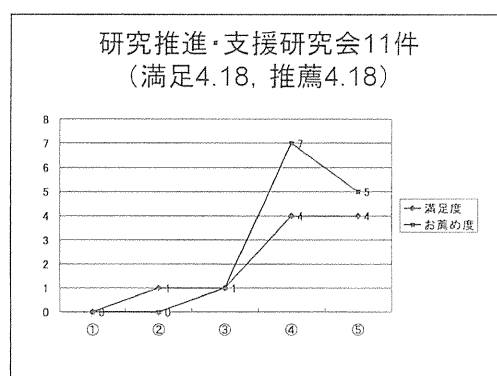
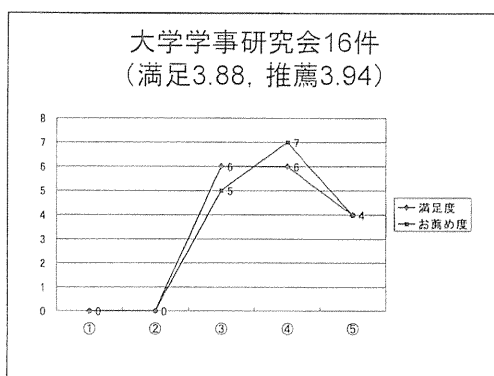
☆件数が少なく、統計的意味にはいささ
か疑問があるが、研究会リーダー等にと
って何かしらのヒントが得られればという
ことで作成した。

大学人事研究グループ30件
(満足3.87, 推薦4.03)

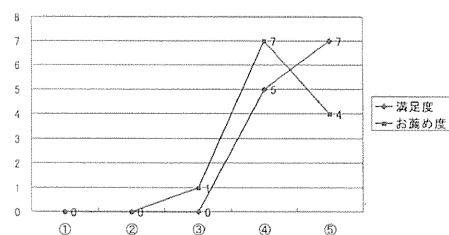


大学職員研究グループ19件
(満足4.31, 推薦3.89)

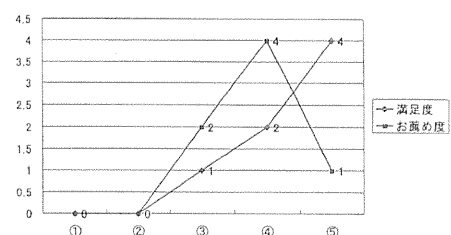




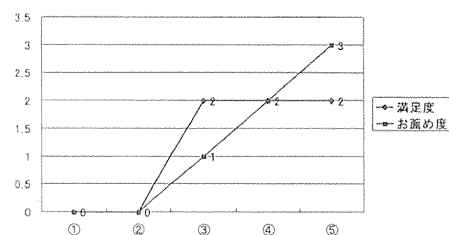
経営評価指標研究会12件
(満足4.58, 推薦4.25)



教育マネジメント研究会7件
(満足4.43, 推薦3.86)



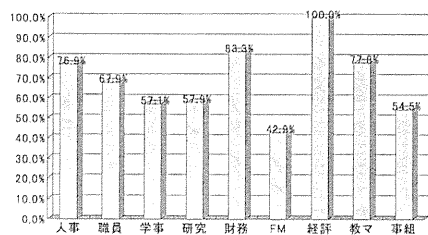
事務組織研究会6件
(満足4.00, 推薦4.33)



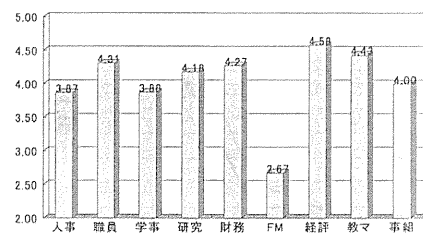
「選択率」について

- 複数回答可能な所属しているテーマ別研究会に回答した会員のうち、どれだけの比率でもっとも積極的に活動している研究会ということで回答したかを「選択率」とした。
- 100%は、複数回答可能な設問で答えた会員が、全員、もっとも積極的な活動をしている研究会ということで回答しているということである。

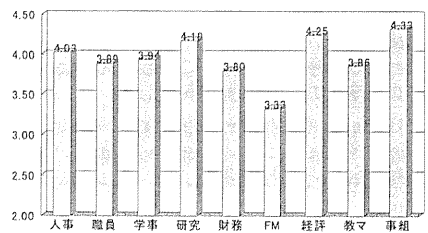
選択率(単回答数／複回答数)



満足度



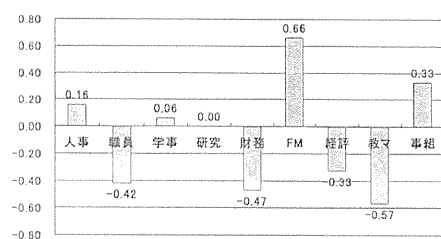
推薦度合



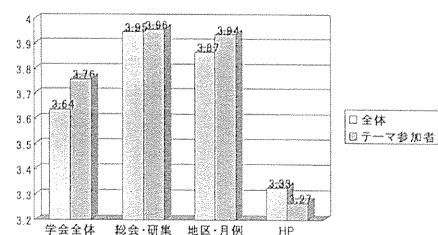
推薦度指数と満足度指数の差

- ・ 推薦度合の指数から、満足度の指数を引いた数字である。
- ・ 「正」の数値を示しているものは、満足度に比較してより強く推薦したいということである。一概にはいえないが、満足度を増したいがゆえに新規会員を加入させて活性化させようというケースが考えられる。しかし、もっとストレートに、満足しているので他の会員にも薦めたいと考えたい。
- ・ 「負」の数値を示しているものは、満足度は高いが、推薦したい気持ちは満足度に比して低いということである。一概にはいえないが、今のままで満足している、これ以上気心のしれないメンバーを増やしたくないというケースが考えられる。しかし、他に満足度に比して推薦度が低い理由があるのかもしれないので、検証に期待したい。

推薦度指数と満足度指数の差
(推薦度マイナス満足度)



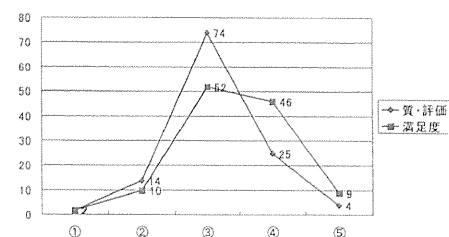
テーマ別参加者の満足度



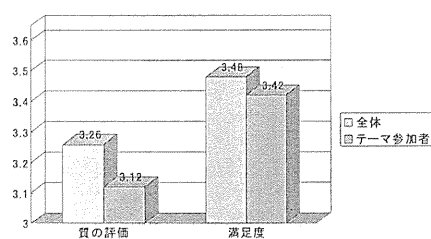
テーマ別研究会参加者の満足度

- テーマ別参加者は、他の満足度についても高いのか？
- 学会の活動全般については全体の満足度よりも0.12ポイント高い。
- 総会・研究集会についての満足度は0.01ポイントという数値だが一応高い数値を示した。
- 地区別・月例研究会についての満足度は0.07ポイント高い。

テーマ別研究会参加者の学会誌評価
(質と満足度)



テーマ別研究会参加者の学会誌評価
(質と満足度)



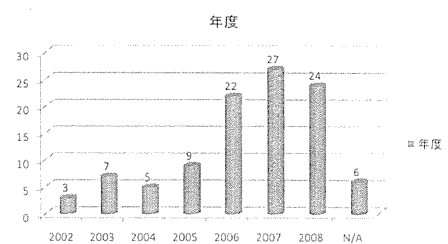
テーマ別研究会参加者の満足度

- ホームページについては、全体の満足度より0.06ポイント低い。
- 学会誌の満足度については、全体の満足度より0.06ポイント低い。
- 学会誌の質の評価については、全体の評価より0.14ポイント低い。
- これらが低いのは、テーマ別研究会参加者の要求水準が他よりも高いからと考えられる。

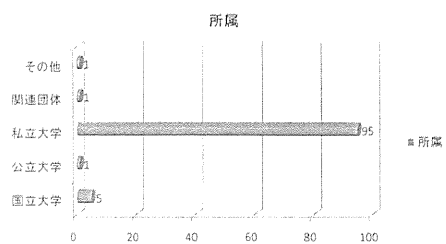
JUAM自己点検・評価に資する 調査(40歳未満データ)

JUAM組織委員会
高野 仁

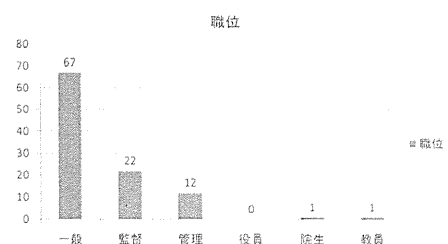
入会年度

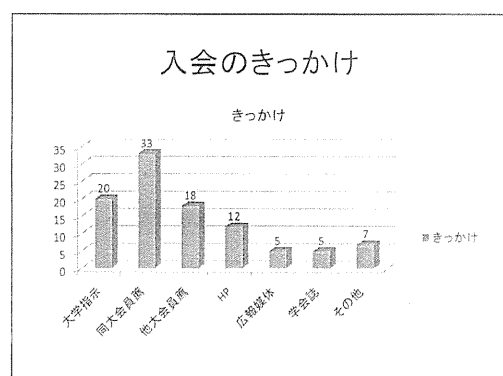
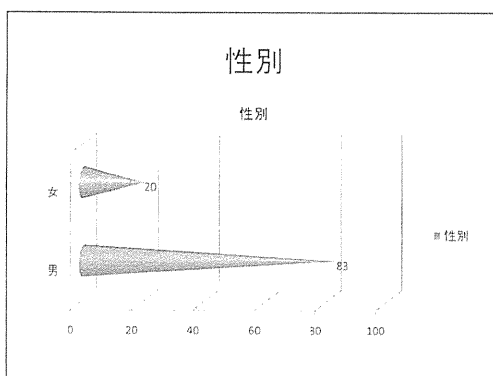
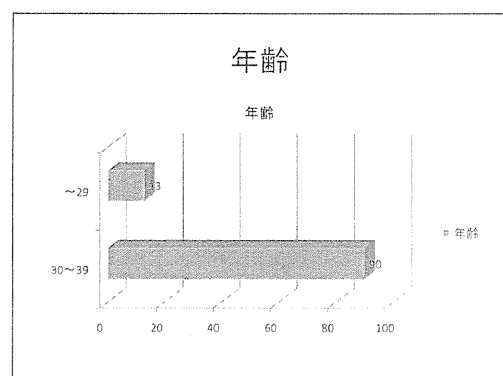
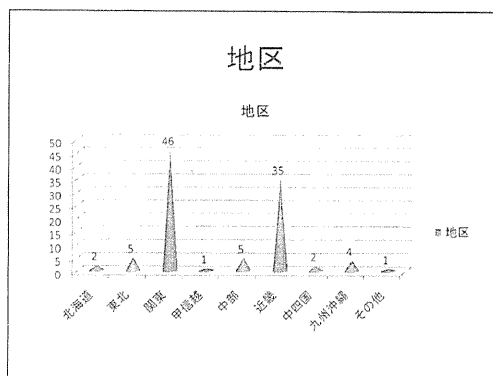


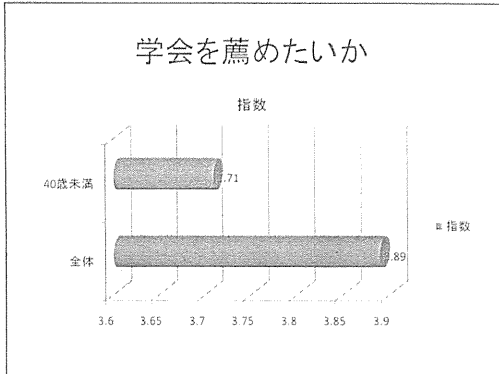
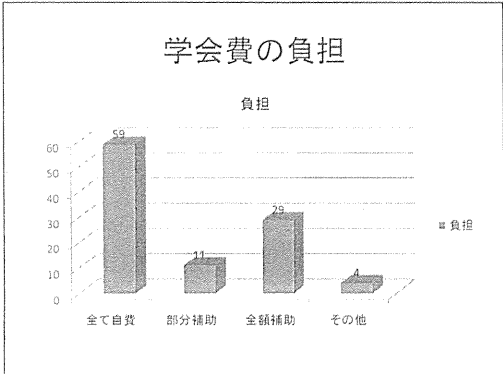
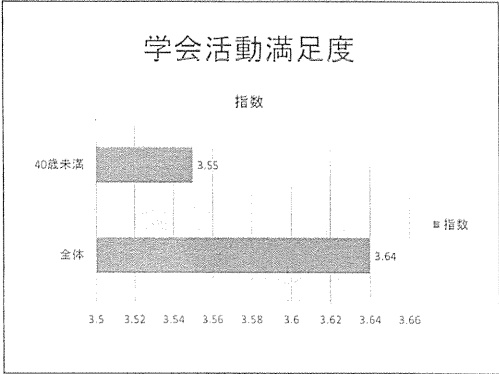
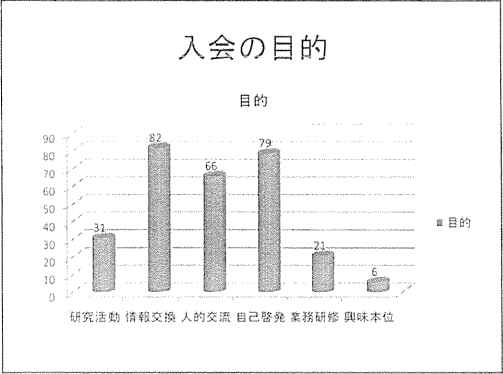
所属区分



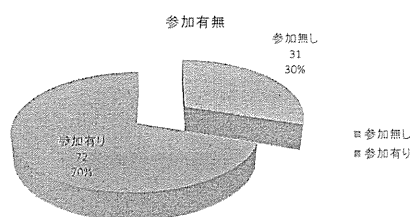
職位



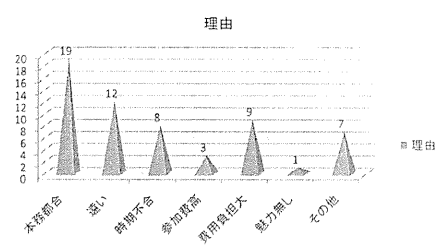




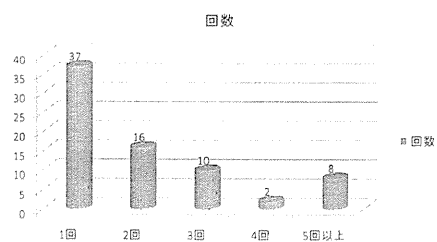
総会・研究集会への参加



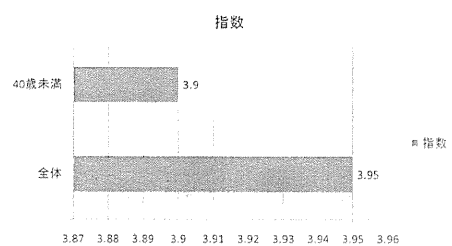
総会・研究集会不参加理由



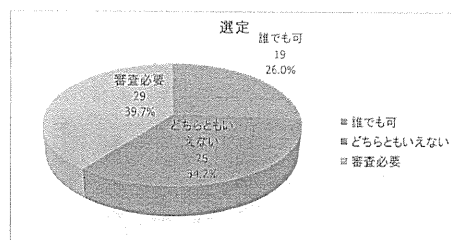
総会・研究集会参加回数



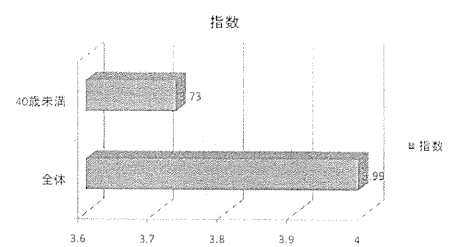
総会・研究集会満足度



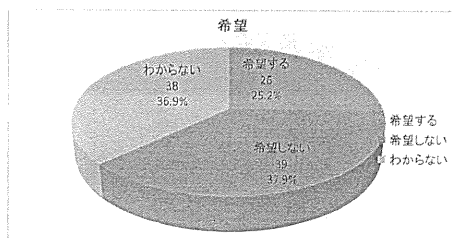
研究発表者の選定



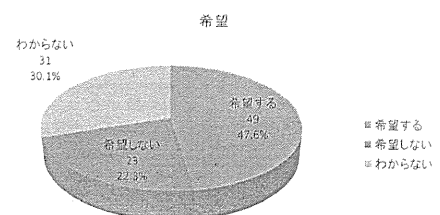
総会・研究集会のすすめ



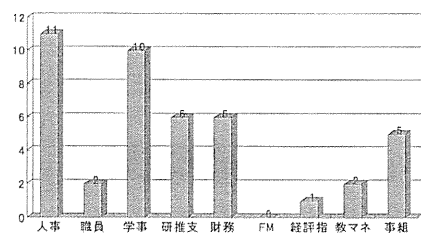
研究発表の希望



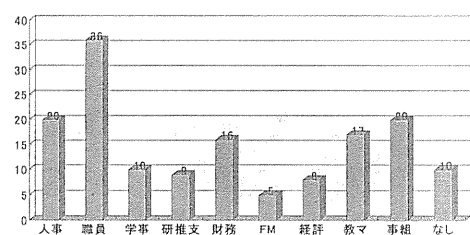
国際シンポジウムの希望



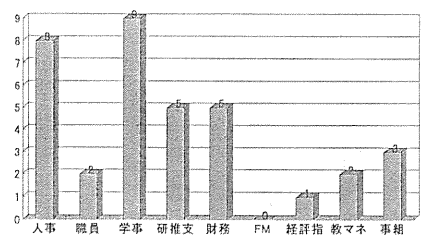
テーマ別研究会の所属(なし68)



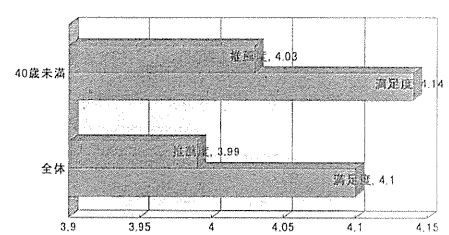
未加入者のテーマ別希望(68件)



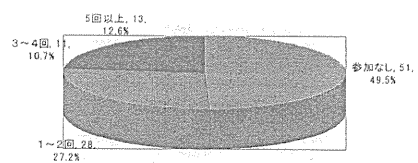
積極活動テーマ別研究会



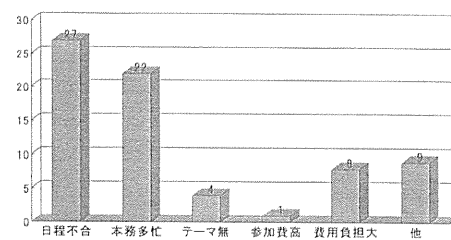
積極参加研究会満足度・推薦度



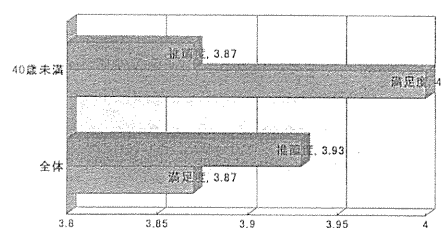
地区別・月例研究会参加



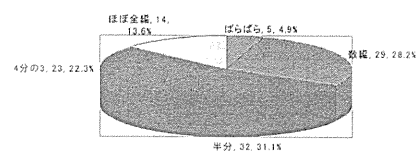
不参加理由



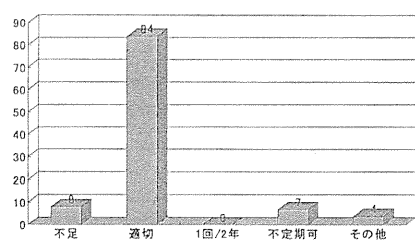
地区別・月例研究会満足度・推薦度



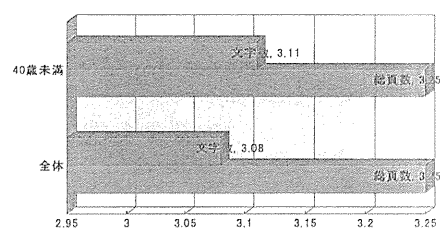
学会誌の読み具合



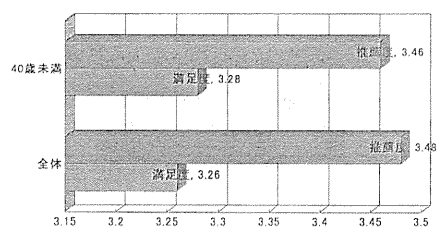
学会誌発行回数



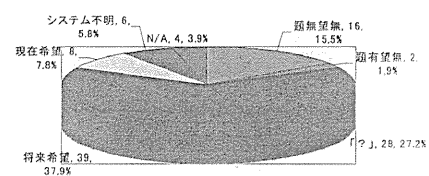
学会誌総頁数・1編文字数の多寡



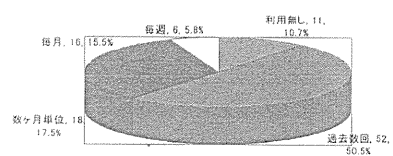
学会誌満足度・推薦度



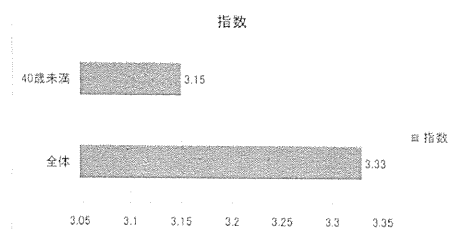
投稿希望(投稿経験の無い会員)



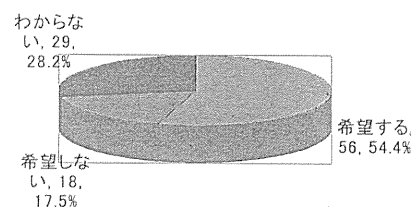
学会HP利用度



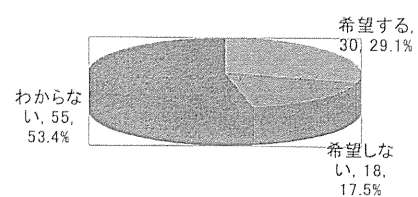
学会HP満足度



データベース利用希望



学会叢書利用希望



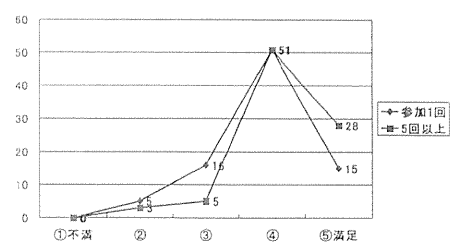
総会・研究集会の参加回数と 学会満足度について

JUAMアンケート調査より
組織委員会 高野 仁
2008年12月

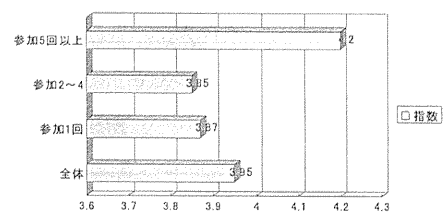
比較にあたって

- ・ 学会活動の満足度と総会・研究集会の満足度の相関関係が高いという仮説が成り立ちうるものが、各種満足度の分析によって判明した。この仮説に基づけば、学会の活性化と満足度向上をはかる上で総会・研究集会の分析は避けてはとれないだろう。
- ・ ここでは、参加回数から、満足度を比較してみたい。「参加無し」(74件)と「1回参加」(87件)、「5回以上参加」(87件)の集団について比較する。

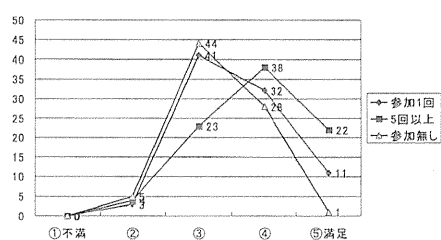
参加回数と総会・研究集会満足度



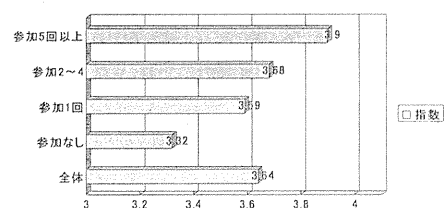
総会・研究集会満足度



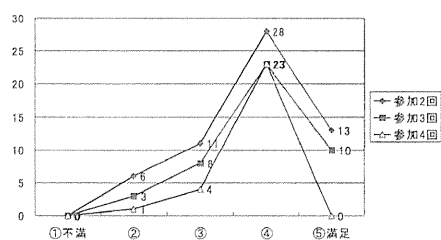
参加回数と学会満足度



学会満足度



参考: 参加回数2~4と総会研究集会満足度 (②: 3.83, ③: 3.91, ④: 3.79)



総会・研究集会の充実が学会満足度の向上には不可欠

- ・ 総会・研究集会の満足度は、参加2~4回のほうが参加1回よりも低くなるという現象が起きている(④が山の頂上という点では、③が頂上の参加なし、参加1回とは違う特徴だが、④に対して⑤の数値が低い)。一方、参加5回以上は、4.2と高い満足度を示している。
- ・ 学会満足度との比較では、参加なしが一番低く3.32で、1回参加すると一気に0.27ポイント上昇する。参加2~4回では、3.68で全体での値の3.64を上回り、参加5回以上では、3.9と高い数値を示す。
- ・ 学会満足度の向上をはかるには、総会・研究集会に参加できるようにすること、リピーターを増やすべく、内容を充実させることが大きな課題である。

学会満足度と他の満足度の 相関関係は？

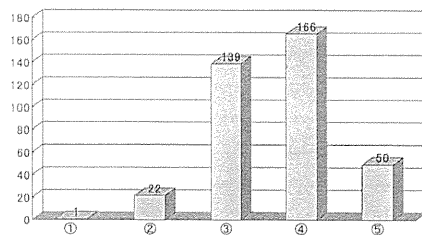
JUAM自己点検評価
アンケートより

2008年12月 組織委員会
高野 仁

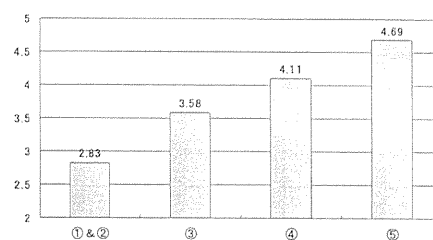
分析の狙い

- 学会活動全般に対しての満足度(指数: 3.64)の評価値によって、他の項目の評価値との関連をみることで、学会の満足度に影響を強く与える要素は何かを仮説することにある。
- 満足度5(50件)、満足度4(166件)、満足度3(139件)、満足度2 & 1(2:22件、1:1件、計23件)の4分類について他の満足度の指数をみることで影響を考察する。

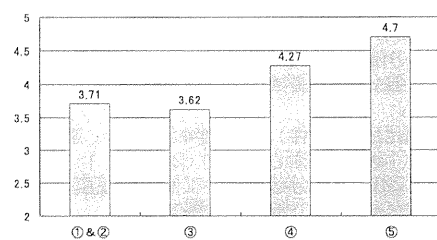
学会活動の満足度(指数3.64)



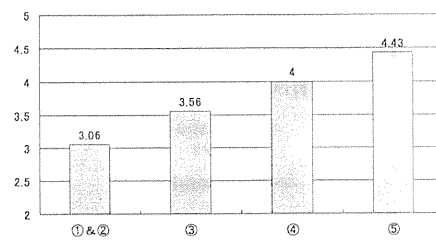
学会満足度と総会・研究集会 満足度指数(3.95)



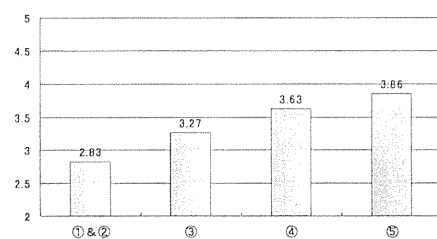
学会満足度と積極参加テーマ研究会
満足度指数(4.10)



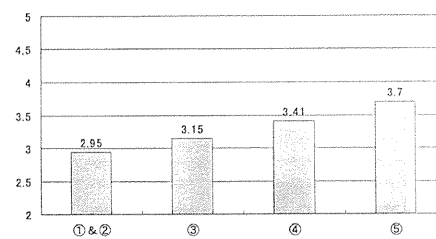
学会満足度と地区別・月例研究会
満足度指数(3.87)



学会満足度と学会誌
満足度指数(3.48)



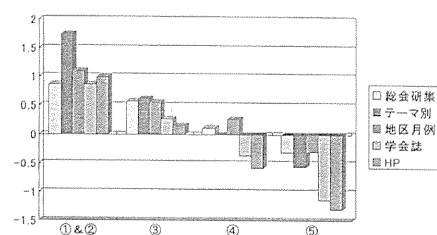
学会満足度と学会HP
満足度指数(3.33)



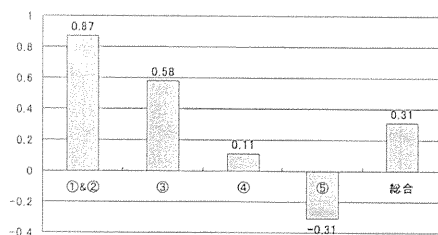
指数の乖離具合

- 各満足度については、積極的参加のテーマ別研究会の満足度でこそ、①&②と③で逆転が起きているが、他はすべて右肩あがり(⑤が一番高く、順に下がっていく)を示しており、関係性を示している。
- より影響力が強いものは何かということで、学会満足度の評価値と指数の乖離具合をみてみたい。なお、①&②については、「1.96」を基準値として調べる。
- 比較で示した総合の数値は、全体の満足度指数の学会満足度との差である。乖離絶対値との差を見たグラフでは、4倍した数との比較をしている。

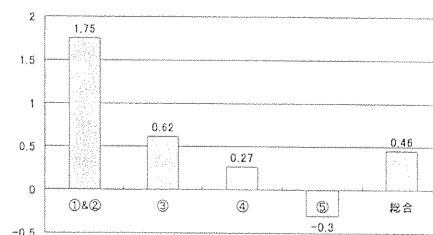
学会満足度との乖離具合



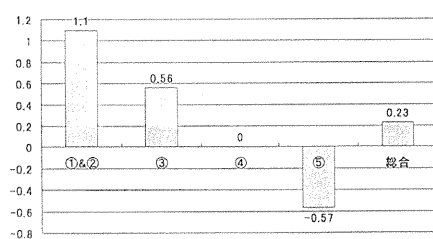
総会・研究集会の乖離 絶対値1.87



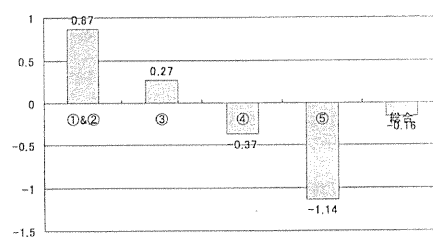
積極参加テーマ別研究会の乖離 絶対値2.94



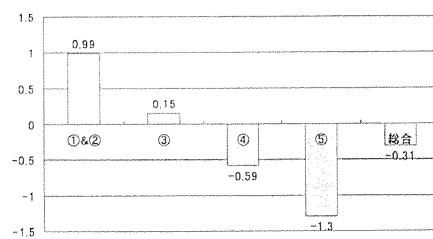
地区別・月例研究会の乖離
絶対値2.23



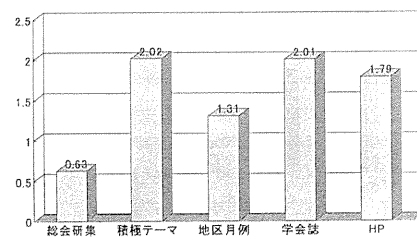
学会誌の乖離
絶対値2.65



HPの乖離
絶対値3.03



乖離絶対値－乖離総合値×4
項目別比較



学会満足度との相関関係

- このように見てくると、学会満足度との相関関係が強いのは、総会・研究集会の満足度ではないかという仮説が成り立つだろう。
- このことを検証する意味で、学会満足度でそれぞれの数値を選んだ会員が別の項目でも同じ数値を選んでいる率を比較してみたい。すなわち、学会満足「5」の人が、他の設問で「5」と答えた割合を比較してみる。

同じ満足度の比率

	①&②	③	④	⑤
総会・研究集会	61.1% ☆	35.4%	75.3% ☆☆☆	69.3% ☆☆
積極参加 テーマ別	14.3%	45.9%	41.2% ☆☆☆	73.9% ☆☆☆
地区別 & 月例	37.5%	34.2%	63.1% ☆	50.0%
学会誌	30.4% ※	61.2% ☆	57.2%	22.0% ※※
学会HP	28.6% ※※	62.5% ☆	48.3%	11.3% ※※※

満足度相関関係に関する仮説(1)

- この前の表で、高い比率を☆で、低い比率を※で示し、その数で度合いを強調してみた。
- 「5」の評価に影響を及ぼしているのは、総会・研究集会と積極参加テーマ別であることがわかる。逆に学会誌やHPは相関が低い。
- 「4」の評価に影響を及ぼしているのは総会・研究集会と地区別・月例研究会である。
- 「3」は、学会誌とHPで☆をつけたものの「どちらともいえない」ということでもあるので、影響といえるほどかどうかは疑問である。

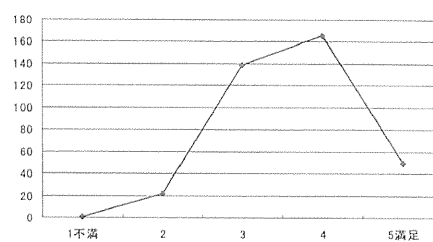
満足度相関関係に関する仮説(2)

- 「①&②」に関しては、総会・研究集会でこそ☆をつけているが、学会誌とHPでは※ということで関連性が薄い。
- 乖離の数値では、地区別・研究集会のほうが積極参加のテーマ別よりも差が少なかったのは、④のほうか⑤よりも母数が大きいことによるだろう。
- 以上を総合して判断すると、学会の満足度に影響力を最も与えるのは、総会・研究集会であり、次には、参加人数で考えれば、地区別 & 月例研究会であり、参加してもらえれば満足度の高いところで相関があるのがテーマ別研究会といえるだろう。

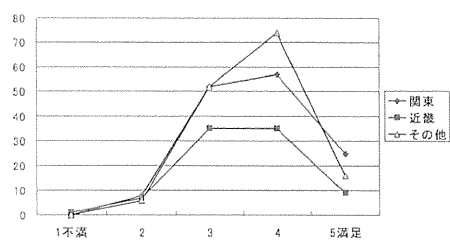
関東圏・近畿圏とその他の地域

JUAMアンケート調査
満足度・推薦度の比較
2008年12月 組織委員会
高野 仁

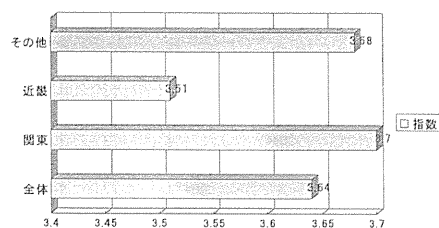
学会活動満足度 (全体指数3.64)

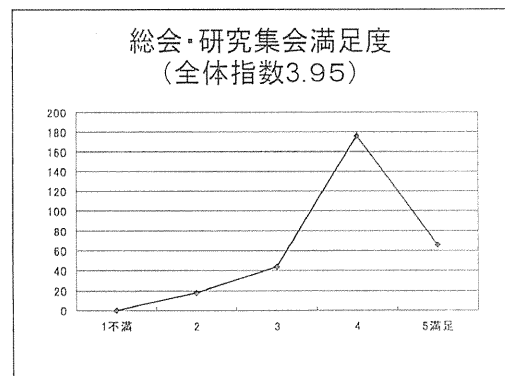
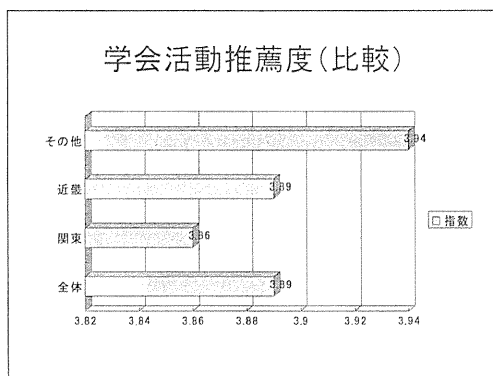
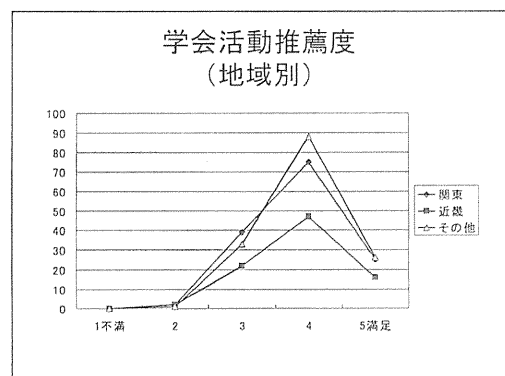
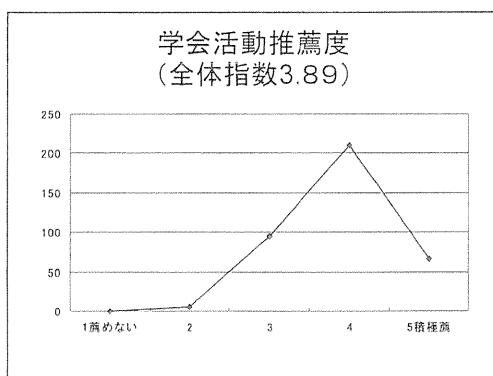


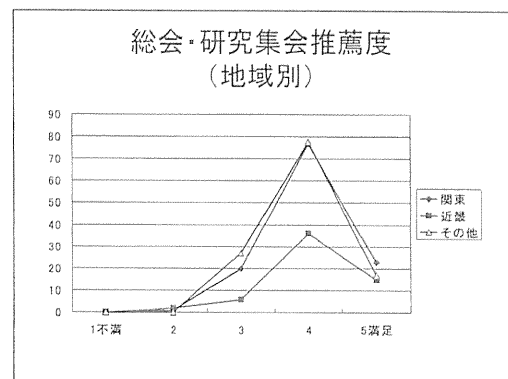
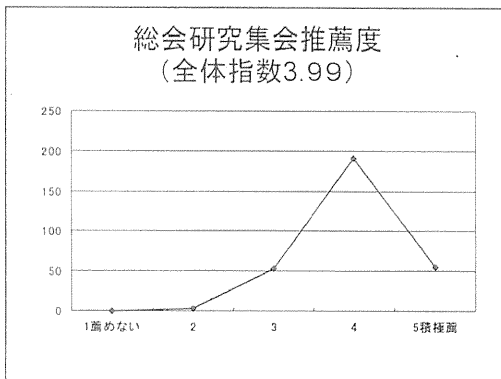
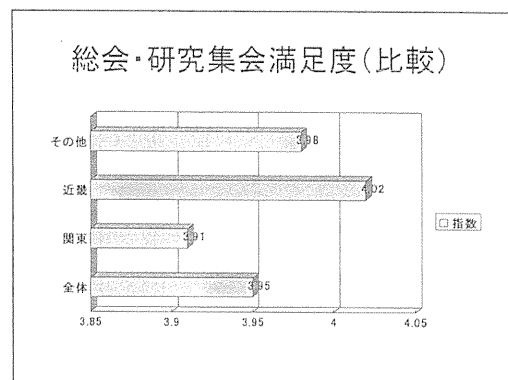
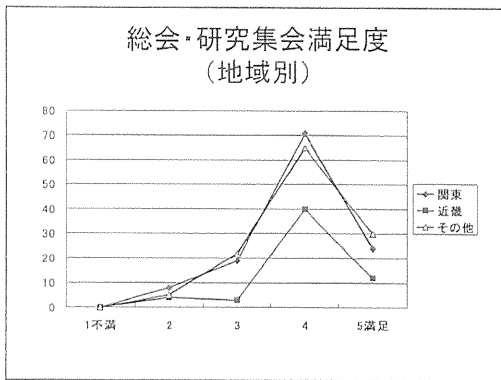
学会活動満足度 (地域別)



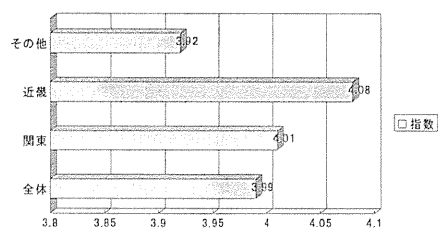
学会活動満足度(比較)



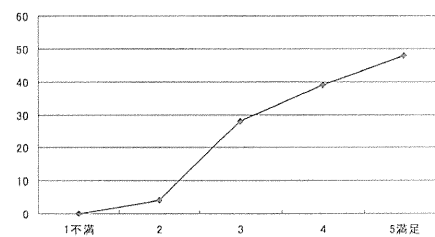




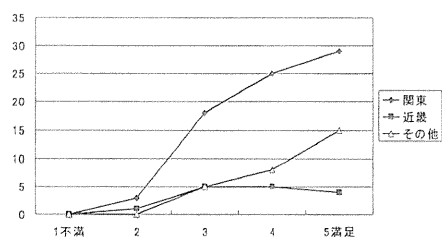
総会・研究集会推薦度(比較)



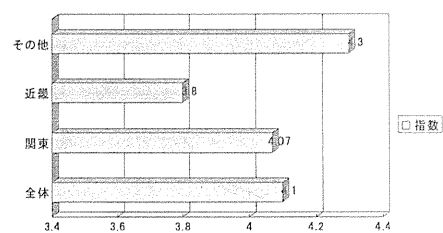
積極参加テーマ研究会満足度
(全体指数4.10)

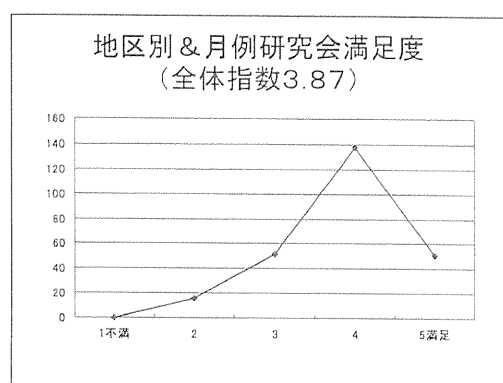
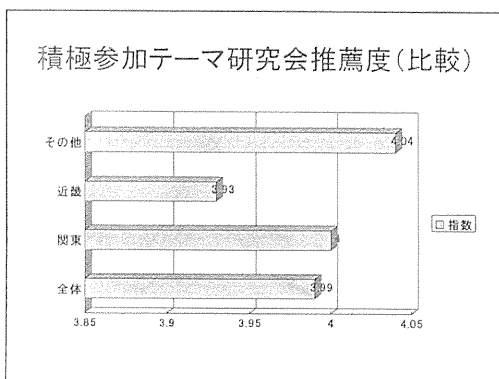
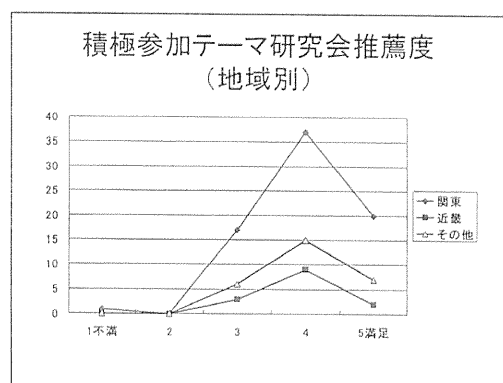
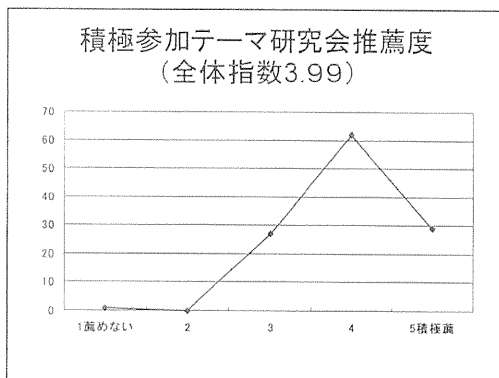


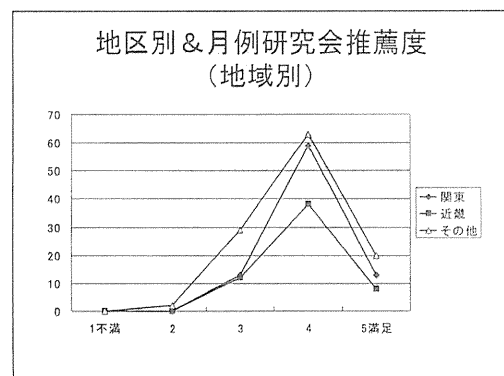
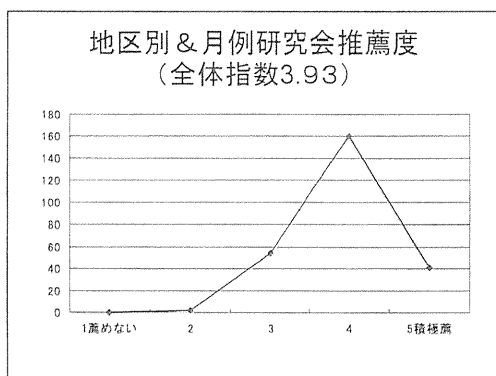
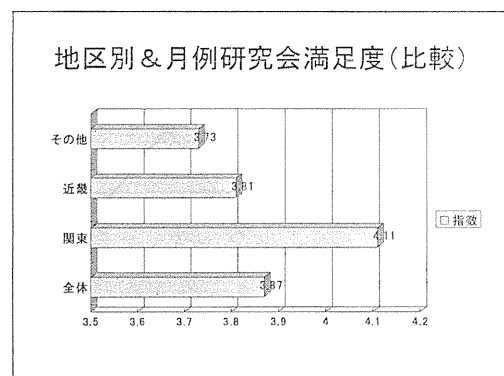
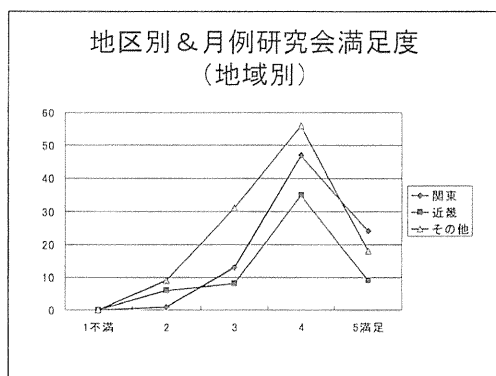
積極参加テーマ研究会満足度
(地域別)



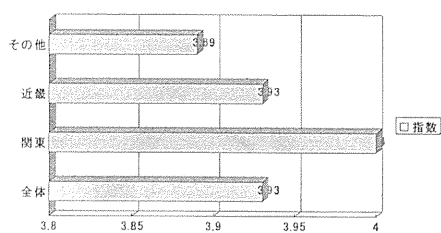
積極参加テーマ研究会満足度(比較)



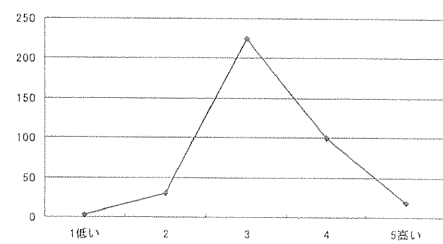




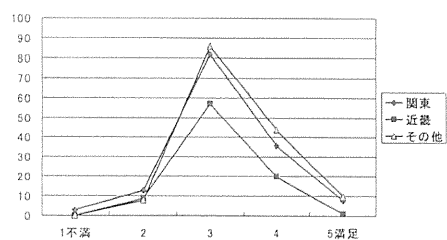
地区別 & 月例研究会推薦度(比較)



学会誌の質評価
(全体指数3.26)



学会誌の質評価
(地域別)



学会誌の質評価(比較)

